所管課 健康長寿部いきいき高齢課 まちづくりの目標(章) 施策分野(節) 第2章 04 高齢者福祉 01 長寿社会を支える仕組みをつくる മ 共生共感都市 事業: 在宅高齢者支援事業 0111 番弓 高齢者が住み慣れた地域で自立し安心して生活が送れるよう、その生活の基盤となる環境整備を推進する。 的 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、その生活の基盤となる環境整備を推進する。 Ħ 標 32.855 総 妥当性 総コスト (千円) Α 事業費(決算額)(千円) 21,342 В 事業費 21.342 効率性 Α 業費 16.657 -般財源 11.513 財 人件費 有効性 国府支出金 3.761 源 それぞれ適正に事業が実施できていると 考えるため。 報 0 公債費 財 地方債 0 価 一人あたり(円) 294 評 理 価 その他特定財源 924 世帯あたり(円) 695 在宅高齢者支援事業の各細事業について適正に実施できたため。 根 施策に対する 献度 事業貢献度 今後 引き続き高齢者が安心して生活を送れるよう事業を継続する。 方向: 14

事業 優先順位 細事業:高齢者支援事業 11 高齢者が住みなれた地域で、できる限り自立した日常生活を継続できるよう支援する。 目 的 高齢者が住みなれた地域で、自立した日常生活を継続できるよう支援する。 目 標 事業 実施主体 事業開始 年 度 根拠法令 委託 平成23年度 平成25年度 平成24年度 比 較 平成25年度 平成24年度 比 較 7,403 6,394 1,009 総コスト 事業費(決算額)(千円) 5,878 5,600 278 (千円) 5,878 5,600 278 事業費 5,401 5,600 -199 -般財源 訳人件費 1,525 794 731 業費 477 0 477 報 国府支出金 財 0 0 0 公債費 0 0 源地方債 従 (円) 66 57 9 一人あたり 財 訳その他特定財源 0 0 世帯あたり 157 136 (円) 21 職 0 職員数 0.20 0.10 0.10 数 再任用職員数 (人) 0.00 0.00 0.00 引き続き、安心安全に自立した生活が送れるように適正に実施していく。 今後の方向性 高齢者など 評 対象者 妥当性 効率性 有効性 Α

事業:在宅高齢者支援事業

1. 在宅高齢者支援事業

高齢者が住みなれた地域で自立した生活が送れるように、河内長野市内の3箇所の地域包括支援センターと連携し、その生活の基盤となる環境整備の推進を図った。

細事業:高齢者支援事業

1. 高齢者支援事業

委託料 5,400,000 円

住みなれた地域で自立した日常生活を継続することができるよう、在宅のひとり暮らし高齢者、緊急通報システム事業登録高齢者等の身体状況や生活状況の調査等を、地域包括支援センターへ委託し、支援を必要とする高齢者等の早期発見、緊急連絡先の把握等を行った。

| 事業名 | 緊急通報シス | 住宅改修 | 徘徊高齢者 SOS | ひとり暮らし | 緊急通報システム |
|-----|--------|------|-----------|---------|----------|
| | テム出動 | 支援事業 | 情報発信 | 高齢者実態調査 | 登録者訪問調査 |
| 件数 | 13 | 147 | 0 | 338 | 386 |

2. 地域ケア推進事業

委託料 477,633円

高齢者が地域で自立した生活が送ることができるよう、医療、介護、生活支援サービスなど切れ目なく適切に提供される地域ケアシステムの構築をめざした。そのために、介護等事業の PR、高齢者や高齢者を取り巻く環境解解を深めるため、河内長野市いきいき介護フェスタをいきいき健康展と同時開催し、600人が参加した。

(内容) 講演会 午前「明日から役立つ健康一口メモ」

講師 河内長野市医師会 はぶ医院 院長 土生 裕史氏

午後「認知症予防に役立つレクリエーション」

講師 グループホーム つぼみ 奥 幸博氏

イベント 舞台 健康体操、モックル介護予防体操等

ケアネットワーク会議(介護サービス事業所の連絡会)等によるコーナー 介護食の試食会 等

